

基本情報



【年齢】
28歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前職】
大学院生
【活動時期】
R2.8～ R6.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

大野市と関西大学がまちづくりに関する連携協定を結んだきっかけで、隊員になる前から大野に来ました。それ以降、空き家を改修した活動拠点「横町スタジオ」で地域のにぎわい作りの活動を続けてきました。

大学院の卒業に合わせて設計事務所に就職することを考えていましたが、そんななか、大野市が空き家対策をテーマに地域おこし協力隊を募集していると知り、「空き家で暮らしてきた経験や、大学で学んだ建築の知識を活かした活動ができるのでは」と考えて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

空き家の情報を広く市民の皆さんに周知する空き家情報誌「あきやたより」の発行を月に一度行なっています。また、あきやたよりを通じて空き家という複雑な事象を細かく砕いて解説等をする中で、本質的な課題を発見し、活動の足がかりを作ることこの事業の目的です。次のステップは、建築のスキルを活かして、空き家活用のモデル事業を展開したいと考えています。それだけでなく、ワークショップ等、市民を巻き込んだ計画へ波及していくことにも期待しています。

活動内容

●あきやたよりの発行

空き家の管理方法や空き家情報バンクへの登録の呼びかけ、各種支援制度の紹介、空き家利活用に取り組む人の紹介など、空き家に関する様々な情報を提供し、空き家の所有者や市民の意識啓発を目的に、隊員が取材し作成する「あきやたより」を発行しています。



●空き家利活用ワークショップの開催

隊員の出身校である関西大学と福井工業大学の建築学部の学生によるワークショップを開催し、現在の社会課題である大野市の空き家に触れ、人と繋がり、街と交わる中で空き家を活用する価値を学びながら、新たな魅力の創出を図ります。



●ソーシャルコンポストを活用した「楽しい循環」の構築とその情報発信

福井県敦賀市の地域おこし協力力隊 西山隊員との連携事業。敦賀市博物館通りで、ソーシャルコンポストの理解促進に向けたワークショップイベントを開催。その模様を冊子にまとめ、情報発信も行います。



連絡先